

岐阜（岐阜県）

人型ロボットがご案内 会議所入り口に「Pepper」設置

岐阜商工会議所は10月25日、昨年7月から行われていた同商工会議所会館の耐震補強工事を終え、完成式典および内覧会を開催した。全館リニューアルと同時に入り口受付には人型ロボット「Pepper」が設置され、同所は当日、来場者らに披露した。



▲Pepperとの会話も楽しめる

この「Pepper」は、同所会館のリニューアルに当たり、常議員である株式会社電算システムが無償貸与したもので、催し物案内を行うアプリケーションを搭載。これは、ソフトバンクロボティクス株式会社のPepperを活用し、

株式会社電算システムが独自開発したアプリケーションだ。

Pepperは、受付に設置された大型ディスプレイと連動して会議所の館内情報や催し物を案内する。大型ディスプレイには催し物の一覧が表示され、Pepperは、会話や胸のディスプレイへのタッチにより催し物会場への経路などの詳しい案内を行う。また、来場者は、Pepperと簡単な会話を楽しむことも可能だ。商工会議所へのPepperの導入は、先進的な取り組みとして注目されている。同所は、「新しくなった会議所会館



▲「Pepper」を披露する村瀬幸雄会頭（右）と宮地正直電算システム会長

とともにPepperを活用してほしい。親しい商工会議所にしていきたいと話している。

横須賀（神奈川県）

「よこすかテレワーク」スタート 地域に眠るスキルを企業へ提供

横須賀商工会議所は11月より、障がい児を持つ母親らのグループ「sukasuka-ippo（すかさいかいっぽ）」と連携した「よこすかテレワーク」事業を開始した。テレワークとは、情報通信技術（ICT）を活用し、場所や時間にとらわれずに働く新しい働き方のこと。同事業は、外に出てフルタ

イムで働くことが難しい母親らに、ライフスタイルに合わせ、自宅で隙間時間を利用して働く働き方を提案し、そのスキルやキャリアを人材不足に悩む地域企業に提供しようというものだ。連携により地域に眠る「働く力」の発掘・組織化と企業のアウトソーシングニーズに応える人材提供を目指す。

アウトソーシング業務へのニーズを抱える

地域企業

- 面倒なバックヤードオフィス業務
- 一時的な事務作業
- Webの定期更新
- 広告デザインなど



横須賀商工会議所

地域に眠る働く力の活用提案とその機会を提供
プロモーション支援

▲「よこすかテレワーク」の仕組み。ホームページ：<http://yokosuka-telework.com/>

現在すでに、同グループのメンバーのうち8人が、テレワーカーとして企業の広告デザイナーやウェブページの作成、企業SNSの定期更新、会計事務所のアウトソーシング業務、イベント託児などで活躍している。テレワーカーは活躍の場が得られ、企業にとっては、「必要なときに必要なだけ」のジャストサイズの依頼が可能であるため双方にメリットがある。業務の受注・人材提供は、sukasuka-ippoが行い、同所は、会員企業の業務開拓や広報・周知を図るなどプロモーション支援を行っていく。